

彦 下 建 第 1 8 1 号

令 和 0 6 年 1 2 月 0 5 日

国土交通大臣 殿

彦根市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和05年10月20日 付け 彦下建第168号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和06年12月04日

計画の名称	彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて（その３）													
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度（５年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	彦根市													
計画の目標	河川や琵琶湖の水質保全と住民の快適な生活基盤を創造するため、公共下水道の整備促進を図る。 供用済の下水道施設について、計画的な改築、更新に取り組み、将来にわたり安全で安心な公共下水道の確立を目指す。 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		5,131	A	5,126	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0.09	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R03当初	R05末	R07末
1	公共下水道の処理人口普及率を86％（R03当初）から93％（R07末）に増加させる。			
	公共下水道の処理人口普及率	86％	90％	93％
	処理区内人口(人) / 行政区域内人口(人) ：住民基本台帳による 112,500（人）			
2	公共下水道施設の耐用年数を迎えるマンホール蓋の健全率を48％（R03当初）から54％（R07末）にする。			
	マンホール蓋の健全度	48％	51％	54％
	ストックマネジメント計画によるマンホール蓋更新実施枚数（枚） / R07年に耐用年数を迎えるマンホール蓋数（枚） 10,600（枚）			
3	都市浸水対策の整備達成率を12.16％（R03当初）から12.40％（R07末）に増加させる。			
	都市浸水対策の整備達成率	12％	12％	12％
	1/10規模での雨水排除が可能な区域（ha） / 浸水対策計画決定区域（ha） 1,982（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
定量的指標 3 都市浸水対策の整備達成率の詳細R03当初現況値 12.16％、R05末中間値 12.38％、R07末最終目標値 12.40％																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	管渠（ 汚水）	新設	東北部処理区関連汚水管 の整備	汚水管 Φ150～400mm L=28 .0 k m	彦根市	■	■	■	■	■	4,530		-
	A07-002	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	管渠（ 汚水）	改築	彦根市公共下水道ストッ クマネジメント実施	マンホール蓋取換 N=160基	彦根市	■	■	■	■	■	37		策定済
	A07-003	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	管渠（ 汚水）	改築	彦根市公共下水道ストッ クマネジメント計画策定 （点検・調査含む）	管路施設（マンホールポンプ 含む）	彦根市			■			18		策定済
	A07-004	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	管渠（ 汚水）	新設	効率的な施設計画の見直 し	施設計画の見直し	彦根市				■	■	29		-
	A07-005	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	管渠（ 雨水）	新設	猿ヶ瀬排水区	雨水渠 □2200×1700 L=20 m □3000×1800 L=110m （計Σ＝130m）	彦根市	■	■	■	■	■	310		-
	A07-006	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	管渠（ 雨水）	新設	高宮新川第1排水区	雨水渠 □350×350 L=95m □900×900～1100 L=134 m（計ΣL=229m）	彦根市	■	■	■	■	■	75		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	-	新設	彦根市雨水管理総合計画 策定	彦根市域の雨水管理総合計画 策定	彦根市	■	■				40		未策定
	A07-008	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	-	-	彦根市雨水管理総合計画 策定	彦根市域の雨水管理総合計画 策定	彦根市			■	■	■	50		未策定
	A07-009	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	管渠（ 雨水）	新設	効率的な施設計画の見直 し	施設計画の見直し	彦根市				■	■	25		-
	A07-010	下水道	一般	彦根市	直接	彦根市	管渠（ 汚水）	-	彦根市下水道施設情報デ ジタル化	下水道施設情報のデジタル化	彦根市					■	12		-
											小計						5,126		
										合計						5,126			

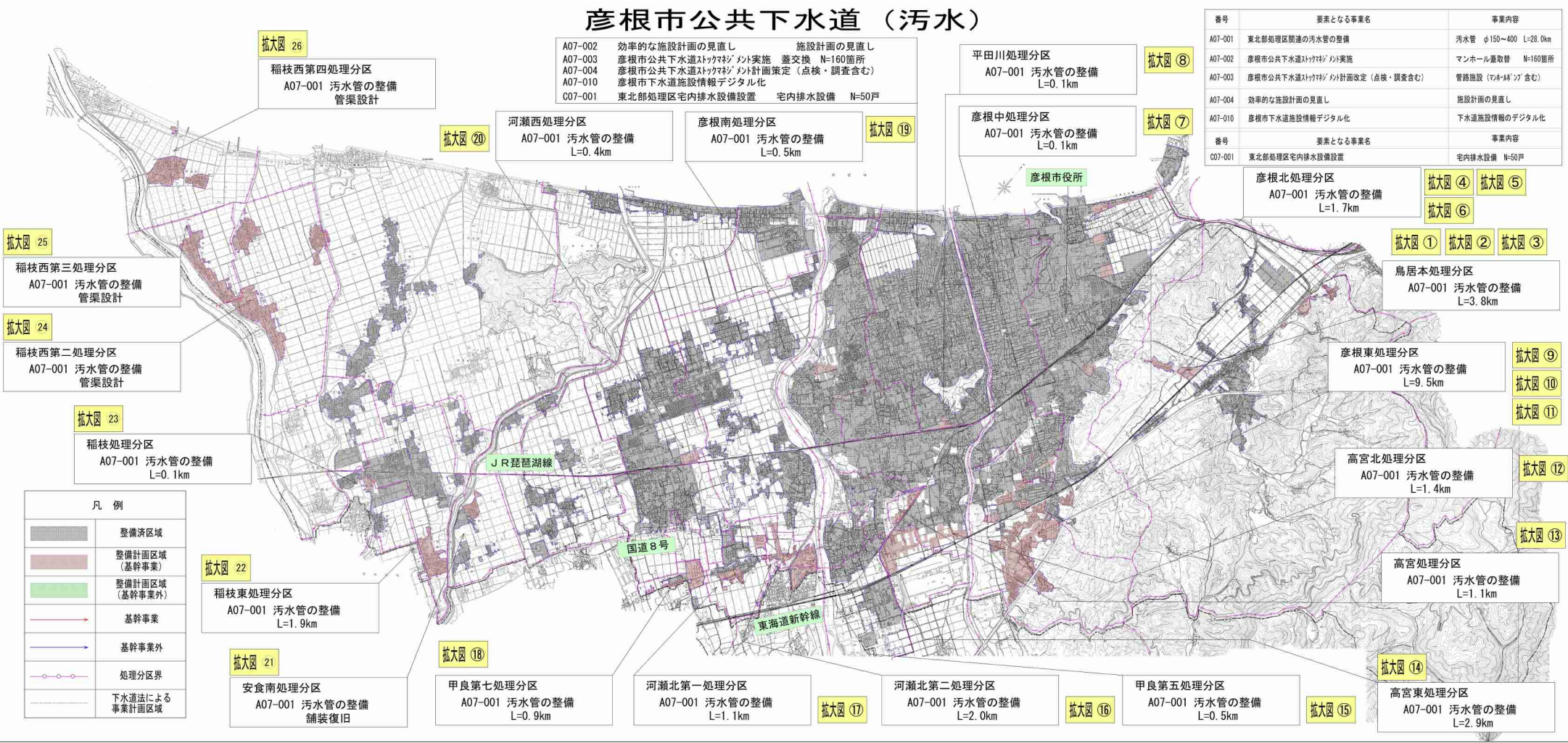
C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	彦根市	間接	個人	-	-	東北部処理区宅内排水設備設置	宅内排水設備 N=50戸	彦根市	■	■	■	■	■	5	-	
		基幹事業（A07-001）の整備に併せ、地域住民の宅内排水設備設置に対して助成を行い下水道の普及促進を図る。																	
											小計						5		
											合計						5		

交付金の執行状況

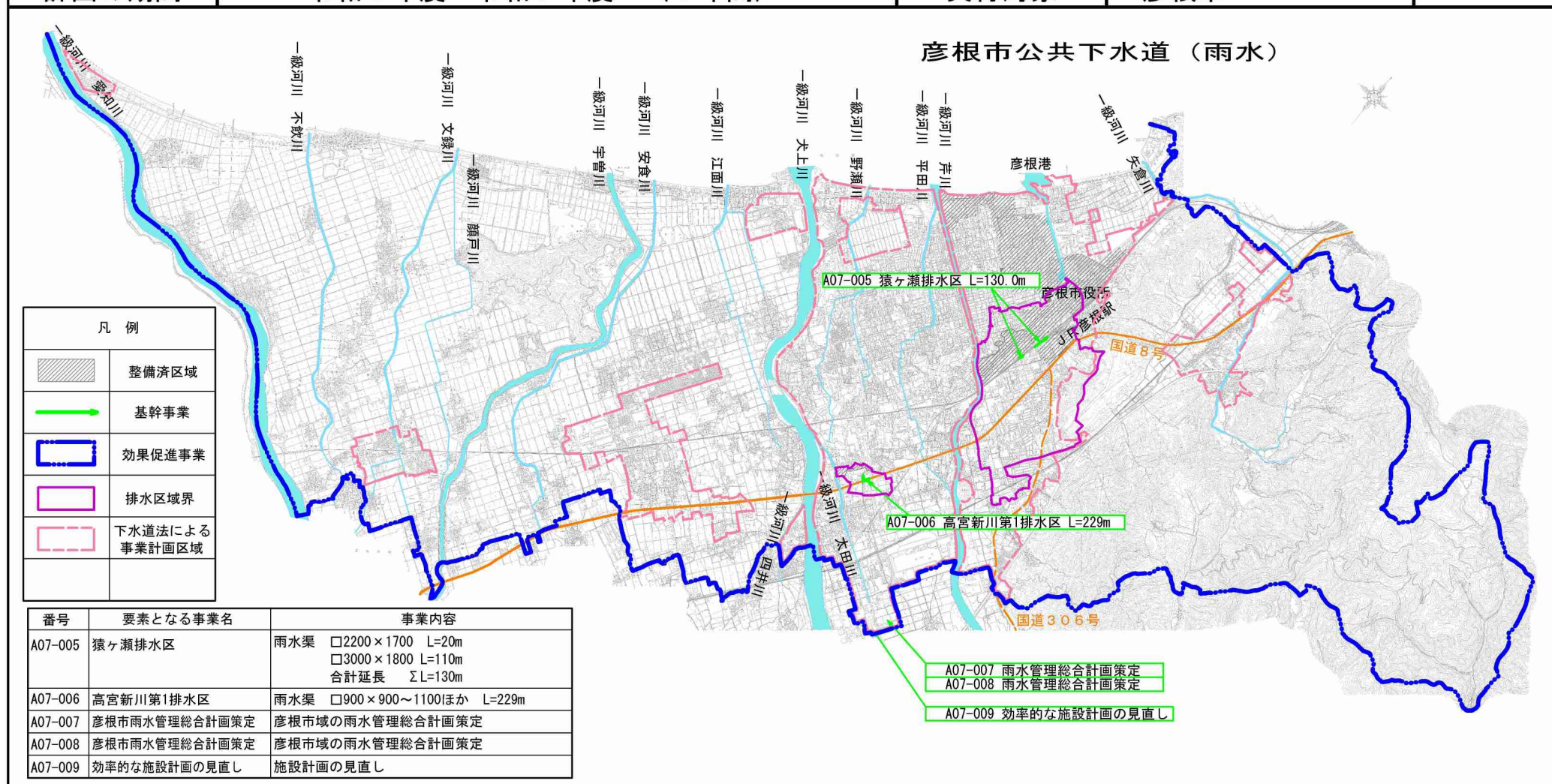
(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	R07
配分額 (a)	410	460	368	276	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	5	0	
交付額 (c=a+b)	410	460	373	276	
前年度からの繰越額 (d)	0	171	188	104	
支払済額 (e)	240	443	457		
翌年度繰越額 (f)	171	188	104		
うち未契約繰越額 (g)	40	20	6		
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不要率 (i=(g+h)/(c+d))%	9.76	3.17	1.07		
未契約繰越率+不要率が10%を超えている場合 その理由	—	—	—		

計画の名称	彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて（その3）			彦根市 — 1
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	彦根市	



計画の名称	彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて(その3)			彦根市－2
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	彦根市	



事前評価チェックシート

計画の名称：彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて（その３）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画（事業認可等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地元情勢の変化を踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 2) 社会経済情勢を捉え、適正な計画になっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標および事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 費用対効果について十分に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	

[illegible]

社会資本総合整備計画の変更（第3回変更）

（主旨）

定量的指標および既存の基幹事業において不整合が生じていることから達成率および事業内容、事業費の修正を行う。

（変更箇所）

○計画の成果目標（定量的指標）の修正

3 都市浸水対策の整備達成率を 12.40%（R03 当初）から 12.47%（O7 末）に増加させる。

→ 3 都市浸水対策の整備達成率を 12.16%（R03 当初）から 12.40%（O7 末）に増加させる。

○備考等の修正

定量的指標 3 都市浸水対策の整備達成率の詳細 R03 当初現況値 12.40%、R05 末中間値 12.45%、R07 末最終目標値 12.47%

→ 定量的指標 3 都市浸水対策の整備達成率の詳細 R03 当初現況値 12.16%、R05 末中間値 12.38%、R07 末最終目標値 12.40%

○ A 下水道事業

（予定事業内容、事業費の修正）

- ・ A07-002 彦根市公共下水道ストックマネジメント実施
【下水道ストックマネジメント支援制度】
事業内容 マンホール蓋取替 N=130 基
全体事業費 32 百万円

→ 事業内容 マンホール蓋取替 N=160 基
全体事業費 37 百万円

（予定事業費の修正）

- ・ A07-004 効率的な施設計画の見直し（污水）
【通常の下水道事業】
全体事業費 34 百万円

→ 全体事業費 29 百万円

(予定事業内容、事業費の修正)

・A07-005 猿ヶ瀬排水区

【通常の下水道事業】

事業内容 雨水渠 □2200×1700 L=20m
□2600×1800 L=110m
(計ΣL=130m)

全体事業費 360 百万円

→ 事業内容 雨水渠 □2200×1700 L=20m
□3000×1800 L=110m
(計ΣL=130m)

全体事業費 310 百万円

(予定事業内容、事業費の修正)

・A07-006 高宮新川第1排水区

【通常の下水道事業】

事業内容 雨水渠 □350×350 L=95m
□900×900~1100 L=114m
(計ΣL=209m)

全体事業費 40 百万円

→ 事業内容 雨水渠 □350×350 L=95m
□900×900~1100 L=134m
(計ΣL=229m)

全体事業費 75 百万円

(予定事業費の修正)

・A07-008 彦根市雨水管理総合計画策定

【内水浸水リスクマネジメント推進事業】

全体事業費 40 百万円

→ 全体事業費 50 百万円

(予定事業費の修正)

・A07-009 効率的な施設計画の見直し(雨水)

【通常の下水道事業】

全体事業費 20 百万円

→ 全体事業費 25 万円

(予定事業費の修正)

・A07-010 彦根市下水道施設情報デジタル化

【下水道情報デジタル化支援事業】

全体事業費 10 百万円

→ 全体事業費 12 万円